

分野：自然への愛着 生態系・生物多様性

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

環境アドバイザー

田島 麻帆

対象 県内親子参加者 8名/全体 15名

所要時間



2時間

場所 埼玉県比企郡吉見町田甲

実施時期

令和4年 3月 13日

概要

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

この活動は、埼玉県比企郡吉見町の雑木林を所有する山主から、人手不足で荒廃した林を何とか出来ないかと相談を受けたことがきっかけで2012年より保全活動を開始。数年間の手入れにより貴重な野草や野鳥の観察まで回復。2018年より親子向け野外ワークショップ活動を実施し、森林ESDや里山保全活動を継続している。

プログラムの
ねらい

テーマ 木をつかう（2月）振替活動

活動地は、クヌギやコナラの広葉樹の雑木林です。管理用に伐採した木を利用して、しいたけ（きのこ）菌打ちを体験します。1年前、2年前に菌打ちした楢木で、しいたけが育つ様子も観察しながら、雑木林での林産物について理解を深めます。

プログラムの内容

1 10:00~12:00 (120分)

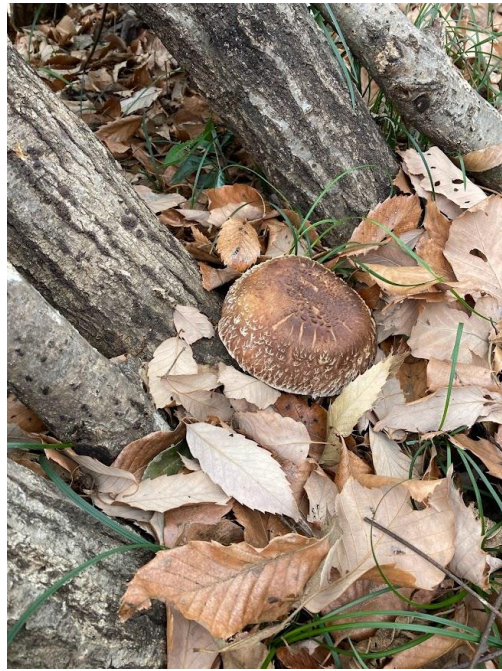
午前活動 オリエンテーション、しいたけの楢木栽培の観察、菌打ち、植樹の土づくり。
雑木林の冬から春の管理活動には、成長した木の伐採とその利活用がある。
クヌギやコナラの木の利用として、しいたけ栽培について体験する。
キノコ類などの菌類と土壌の関係を、こどもたちにわかりやすい絵本を利用し伝える。

- 日本の里山は、森林がもたらす豊かな恵みを暮らしに活かしてきた日本人独特の関わりの場。人と生き物が共に生きる自然環境である。活動地は、クヌギやコナラなどが大きく成長している。吉見の風土にあう果樹を植え、その成長の観察や、伐採した木を利用した楢木でしいたけを育て、きのこの成長を観察する。

受講者の反応

- しいたけの楢木を観察して、実際にどのようにしいたけができるのか理解できた。
- これまでしいたけを食べなかった子供が、しいたけの収穫をきっかけに関心をもつことがきっかけで、自宅でも食べるようになったとの話があった。

環境学習の様子（写真）



左上：しいたけ菌打ちの様子

穴を均等にあけ、木にしいたけ菌を打ち込む

右上：2年前の榎木を観察

しいたけが大きく育つ様子